

食の冒険家 ～アジアの缶詰を「食べ歩く」パート～

中国語学科 3年 山科勇樹

私たちの生活から外すことのできない「缶詰・缶ジュース」。アルミニウムという名の謎のベールに包まれている彼等の中身を気になったことはないだろうか？ 冒険の全てはこの好奇心からはじまった。

合言葉は「パンニハムハサムニダ?」いや、「カンニツナハサムニダ!」??

のパートのタイの缶詰・カップラーメンは全て美味しく、パートに比べると大成功であった。ちなみにパートの中国・台湾の缶詰の中には夢と危険がぎっしり詰まっていた。さて、今回はどこで缶詰を手に入れようか？ひとまず、前回タイの食品を購入した川崎の駅ビルBEの輸入食品店を見てまわった。しかし、うーん、ちょっといまいちと思ってしまった。アメリカやポルトガルの缶詰はあったのだが、あまり興味が沸かなかった。

そこで実家の近くにある韓国人が経営する食品店に足を運んだ。すると、あるわあるわ。韓国のお宝食材。お宝缶詰。お宝缶ジュース。店員さんの対応も親切で、丁寧だったので…YES。今回の食べ歩きテーマはもちろん「韓国の缶詰」で決定！

どうも。ラーメン、イケメン、僕つけ麺、おなじみの食の冒険家・山科勇樹です。毎年、年に1回のこの企画も、早いもので今回をもってパート 突入である。パートの企画では亀ゼリーを筆頭とした世にも恐ろしい、中国・台湾の缶詰。パートの企画はタイの缶詰・カップラーメンの食べ歩きを行った。前回

さあ一缶目。高鳴る高揚感と、ほどよい緊張感の融合するなかフタを開けると、真っ赤なツナが現れた。ツナのまわりには角切りのじゃがいも。更に細かい玉ねぎも。食べてみると、ちよつと辛いけどチゲというかキムチ風味で、癖になる美味しさ。白いご飯との相性も抜群で、お酒のつまみにもGOOD。今夜はチャミスル片手に、このツナ缶で乾杯しましょう。

さんまの缶詰

さんまの缶詰 ¥450 原産地韓国



次に2缶目。早速開封すると5、6匹のさんまが缶の中を自由に泳いでいた。これは明石屋さんまもビックリ。味のほうは普通に、普通のさんまの缶詰。日本のさんまも味も変わらない。水煮なので味は薄いのだが、ご飯とも良く合う。温めて、醤油をかけると旨さ倍増。炊飯器で



さんま数匹とカレー粉を入れ、炊いたところ、最高な炊き込みご飯が完成した。これは絶品！

水晶果

水晶果 ¥100 原産地韓国



これは韓国伝統の飲み物、水晶果。もちろんこの缶ジュースを日本の自動販売機で見かけることはないだろう。驚くべきことに、川崎大師の名物、「せきどめ飴」に味がそっくり。シナモン、柿、しょうが配合で体に良さそう。韓国

辛いツナ缶 ¥350 原産地韓国



の人の健康の知恵を身に染みて感じた。ほのかなとろみがあり、ほどよい甘さに舌がとろけてしまいそうになる。

梨のジュース

梨のジュース ¥100 原産地韓国



さてさて缶ジュース2缶目に突入。これは珍しい梨の缶ジュース。りんごジュースは見かけるけれども、梨ジュースは日本には無し。笑。そんな感じで缶を開けてみると、ふわーんと

ロピカルな香りが部屋中に広がった。味を試してみると、梨というか洋ナシの味。梨と洋ナシの違いが定かではないけれど、果肉入りなので楽しい気分で味わえる。

柿とみかんのジュース

柿とみかんのジュース ￥100 原産地 韓国



今回ラストオーダーのドリンク。チェジュ島発の柿とみかんのジュース。しかもヤクルト製。柿とみかんの組み合わせ？ なんだかドキドキ。

飲んでみると全く柿の味はしなかった。これは旨い！ヤクルト製品は、やはり期待を裏切らない。ゴクゴクいける喉ごしの良さで、朝の目覚めの一杯にはもちろん、風呂上がりにも最適

食の冒険家から一言

酒飲みの私は普段から韓国の食品にお世話になりっぱなしである。焼酎はやはり定番の「鏡月」、「JINRO」。つまみは「韓国のり」、「キムチ」、「チャンジャ」。どれも最高に美味しい。焼酎は「鏡月」のお茶割りを好む。ちなみに

にお茶は「おいしい、お茶」に限る。笑

さて、今回の食べ歩き冒険も本当に楽しく行っことができた。言っまでもなく私は韓国の食べ物大好きだからである。もちろん韓国という国自体も好きな私。実は中学1年生の時に韓国のチェジュ島というところを訪れる機会があった。もう何年も前のことなので、あまりチェジュ島ではっきりした記憶がない。覚えてることと言えば、物価が日本より安いこと、そして向こうの焼肉屋では、焼肉をハサミで切ることである。この光景を目の当たりにした時にはとても驚いて、夜も眠れないほどであった。ちなみに私の好きなお肉は、カルビ・タン塩・

ハラミである。これさえあればご飯何杯でも食べることが出来る。さらにユッケやチョレギサラダがあれば言うことなし、最高である。

うちの父親も韓国に知り合いがあり、何年か1度に韓国に行く機会がある。その際に買ってきた銀の箸とスプーンを愛用している。この銀の箸は有害な毒素に反応して変色する。韓国では料理を人に出す際に、銀の箸で料理を刺し、毒が入っていませんという証明をするらしい。毒殺の危険のある韓国では、食の安全を確認するためにこの銀の箸を使うという話である。ちなみに私の父親は現地で、マフィアらしき人物に韓国語でいちゃもんをつけられたり、空港で自衛隊に銃を突きつけられるなど、毎回危険な目に遭って帰ってきている。次回韓国に行く際には気をつけていただきたい。笑

今回の企画も、様々な方々の協力があり、完成したものである。本当に感謝、感激です。不景気と騒がれる中、そんなことに気にせず、のんきにショートケーキばかり食べている私。景気回復には笑いとケーキが必要です。ドーナツも必要です。美味しい物食って、飲んで、笑って、楽しくいきましょ。次回もお楽しみに！

最後まで目を通していただきありがとうございます。ありがとうございました。



【協力店舗】

corean食品専門店

麻布食品 桜木店

☎〇四四 二八七 五四一九

地方発送承ります。

【協力者】

山科利昭（冒険家の父）

山科敬子（冒険家の母）

山科優人（冒険家の弟）